

山行報告書

山行管理部

ターブル・自然保護 合同山行 歴史の道 高野山町石道を訪ねて (NO2)

7月16日 CL 杉谷、飯塚、早川、児玉 参加21名
南海難波駅7:24—高野山8:56—千手院橋バス停—大門大門10:20—鏡石—展望台11:30 昼食 12:00 出—押し上げ石—袈裟掛け石—矢立12:50 トイレ
13:00 出—笠木峠14:00—二つ鳥居展望台—古峠15:45—上古沢駅16:45 着—
南海難波駅18:25

雨の心配をしていたがよく晴れ暑い一日になる。高野山 大門に着き早々にアクシデントとなったがUさんKさんの機転ですぐに解決し—安心。今回は1~124町石までの道のり。(ちなみに180町石あります) 木陰の歩きやすい道を町石を数えながらなごやかに歩き展望台で昼食。弘法大師の伝承を伝える押し上げ石 袈裟掛け石を経て矢立に着く。これからはゆるやかな登り単調な杉林をひたすら歩くと立派な二つ鳥居 展望台からの里山の風景に癒される。長い道のりと暑さで疲れもピーク。これからの急な下りに気を引き締めて最後の踏ん張り。足のゆびが痛い。どうにか予定時間までに下山。またひとつ歴史の道を歩ききり大満足。。。。しかし私自身反省する事がいっぱい。みなさんの協力が無事終える事が出来ました。感謝
(杉谷 記)

教育部 白滝谷沢登り 7月22日 CL 高桑 SL 高山 参加者7名
07:00 JR 茨木駅西口前集合 —07:20 発 09:10 坊村P発—10:30 白滝
谷入溪—12:30 白滝谷分岐—14:50 夫婦滝—17:00 坊村着 —17:30 坊村
発—19:30 大阪京橋駅前解散

今年も盛夏の白滝谷でしたが何故か前後には入溪者はなく穏やかな沢でした。お陰で、白滝谷の遡上も他パーティーのプレッシャーもなくチャレンジ、アタックが出来ました。今年は嫌われ者のヒルはお土産にして翌日に自宅で被害に遭ったメンバーがいました(泣笑)
(高桑 記)

例会山行 箕面 大滝~天井ヶ岳~ようらく台園地 7月23日

CL 井 SL 加藤 参加者45名(内一般3名)
阪急箕面駅着8:35 (トイレ・点呼) 箕面駅発8:50 →桜広場9:10 (体操・コース説明・班分等) 桜広場発9:25 → 箕面大滝10:00 発10:15 → 百年橋10:30
→ 天井ヶ岳分岐11:40 → 天井ヶ岳往復 分岐発11:55 → 広場12:10 (昼食・クラブ紹介他) 昼食広場発13:25 → ようらく台園地13:45 →
大ケヤキ14:00 → 落合橋着15:00 解散
気温33度の中、しかし、炎天下でなく曇りの天気には助けられました。参加者45名を

2班と夏山参加者で1班作り3班の出発としました。大滝までは散歩コース皆さんおしゃべりも楽しんでの歩きでした。滝上の百年橋からのいきなりの登り、階段100段余りはきつかったでしょうか？以後は意外と落ち葉道も多く木陰の道歩きで、時々階段も難なくクリアしました。昼食後はなだらかな道が多かったのですが、最後の1時間程は3年前の大雨で荒れた場所もあり注意しながら少々緊張した歩きで、落合橋広場に着いた時はホットして思わず皆でハイタッチも出ました。しかし、大滝から1名（1名付添い）、山道に入ってすぐの百年橋上の階段を越えた辺りから1名（家族1名付添い）の方が暑さもあり、ご本人の希望で引き返される事になりました。引き返す決断も大切な事、改めて教えられました。（小林 記）

夏山特別山行 蝶ヶ岳 7月29日～31日 L木村(佐) 参加17名

7/29(土) 森ノ宮 6:50＝大正池 13:10→河童 14:35→明神 15:45 → 徳澤園 16:55(泊)

7/30(日) 徳澤園 7:40→横尾山荘 8:40→蝶ヶ分 13:1→蝶ヶ岳ヒュテ 14:00(泊)

7/31(月) 蝶ヶ岳ヒュッテ 5:30→長堀山 7:10→徳澤 10:00(10:30)→明神館 11:30 →

→ 上高地バスターミナル 13:00 → 平湯 13:30 → 大阪 19:40

総勢17名2班に分かれて本番を迎える。天気は、29日30日は曇り、31日はご来光が見られた。北アルプスの山々を見ながら朝食をとる。その後高山植物を見ながら下山をするが、時間を要してしまい徳澤到着が予定より30分～1時間遅れとなる。

徳澤園、蝶ヶ岳ヒュッテでは、高山病の予防や対策の話があり、登山は一週間前から始まっているとの事。アルプスが初めての人もいて、良い経験になったと思います。

メンバーシップは、ほぼ取れていたと思う。（木村(佐) 記）

ターブル 石楠花地獄谷～大池地獄谷 8月13日 CL原 SL近澤 参加16名

花山駅 9:10 → 地獄大滝 11:05 → ダイヤモンドポイント(昼食) 12:45
→ 水晶山 13:40 → 花山駅

コース途中のダイヤモンドポイント手前の堰堤の所で水かさが増して通れずやぶごぎをして迂回するというアクシデントがありましたが皆さんの協力で怪我なく全員無事下山することができました。沢の岩は苔で滑りやすかったり、ロープや笹をつかんで下りたりと緊張する場面もありましたが、天候も良く楽しい山行でした。有難うございました。（近澤 記）

土曜山行 ツツノ谷～金剛山～寺谷 8月19日

CL三嶋 SL堺 参加19名(内一般1名)

河内長野駅(8:45発) ⇒ 登山口バス停(9:15着)～ 駐車場(WC)～ ツツノ谷分岐(9:48)

～腰折滝(10:00)～ 二の滝(10:40)～稜線(11:50)～山頂広場(12:03～12:40)

～大日岳 ～岩屋文殊(13:10) ～林道 (14:00) ～ロープウェイ前バス停(14:10 着 解散)

参加者は比較的新しい会員が3名、それにお試山行1名を含む19名であった。登り初めからついついペースが速くなり、早々にSLから指摘を受ける。今回は初めて金剛山登山の方もおられ、自分の中では意識した”つもり”であったが…。登りは木々に覆われた沢筋の道であり、涼しげな水の流れは、時折こぼれ落ちる夏の日差しを浴びて光輝き、目に心地よい。但し、頂上近くは流れも細く、強い日光を浴びた大きな葉や枝が力強く生い繁り、オバケサイズの蕨等も目にする。また途中沢筋を大きく離れた所では、コースに自信が持てなくなり参加者に迷惑をかけてしまった。下見の時の「集中度の差」が、こうした時に出てくるのかと思う。山頂広場には予定より若干遅れて着いた。昼食後は予定を一部カットし、大日岳までピストンの後、直接岩屋文殊へ向かう。ここから下見の時(5/末)には九輪草等が多く見られた寺谷コースをロープウェイバス停前まで一気に下り、解散とした。当然予定より早い到着時刻となったが、その分”反省会が充実”していたのは言うまでもない。「比較的新しい会員を迎えての歩きは、どうあるべきか」等、結構手厳しい意見も出たが、これも気の置けない仲間内だから言えること。それなりに楽しめた山行であり、反省会であった。因みにIさんの知人である「お試山行の方」が入会された。

(三嶋 記)

有志山行 富士山 7月27日～7月29日 L岸本 参加2名

7/27 新大阪8:43→新富士11:45→河口湖14:22 富士五合目着 雲上閣(泊)

7/28 五合目6:30・六合目7:15・八合目11:00・本八合目13:30 山小屋(泊)

7/29 本八合目6:00・九合目6:40・頂上7:45 下山8:45・五合目12:10

五合目→新宿→東京→新大阪21:40

2年前に八合目で悪天候の為頂上を諦め下山する。今回は、リベンジ登を目指す。ゆっくりゆっくり、1歩ずつ前進。無事登上出来ました。バンザ～イ！！霧の為「お鉢めぐり」は諦め下山する。下山は登りよりしんどかった。“イツメサ”が沢山咲いてました。

(森本 記)

有志山行 燕岳・大天井岳・槍ヶ岳・縦沢岳 8月3～8日 L岩見 参加6名

8月3日(木)阪急BT大阪梅田 15:30 集合 バス出発16:00→(阪急バス)→

21:46 松本着→22:45 JR穂高駅着…あずみ野パークホテル(泊)

4日(金)6:00 ホテル前→タクシー → 6:55 中房温泉…8:15 第二ベンチ…

10:40 合戦小屋…12:20 燕山荘…13:00 燕岳… 13:30 燕山荘(泊)

5日(土) 5:00 燕山荘…為右衛門吊岩付近…切通岩…9:23 大天荘…10:55 大天井

ヒュッテ… 14:10 ヒュッテ西岳 (泊)

6日(日) 5:45 ヒュッテ西岳…7:10 水俣乗越 …9:40 ヒュッテ大槍 …

10:55 槍ヶ岳山荘…11:45 槍ヶ岳…12:25 槍ヶ岳山荘(泊)

7日(月) 4:00 槍ヶ岳山荘…4:55 千丈沢乗越…8:50 縦沢岳…9:35 双六小屋…

11:15 弓折岳…12:00 鏡平山荘…12:55 シシウドガ原 …13:50 秩父沢

…15:15 わさび平小屋 … 中崎橋…16:45 新穂高温泉(泊)

8日(火) 12:20 新穂高温泉 → 高速バス(中央交通) → 19:50 大阪梅田 着

山行全日午前中晴れ、午後は多少曇る程度で、雨は降らなかったのが幸運だった。山行に要した時間は計画より各日1~2時間増しになった。山行中、残雪をいただいた深緑色の山々を鑑賞し、北アルプスの壮大さに感心した。槍ヶ岳は岩場の連続で、登山者は数珠状につながって見えた。7日は双六岳に登る予定だったが、台風が接近しているので双六岳に登らず帰路を急ぎ、双六小屋から鏡平山荘を経由してわさび平小屋で小休止し、新穂高温泉まで計13時間歩き続けた。今回の山行の前半は山々の景観を心行くまで堪能できたが、終盤は台風接近に迫られて急ぎ足になった。

(岩見 記)

有志山行 **北岳、間ノ岳** **8月5~6日** L井 参加3名

8月5日 広河原(5:00)→(7:50)大樺沢二股(8:20)→(11:47)八本歯の科尔(12:35)→
(北岳山荘への近道(トラバース道)→(14:40)北岳山荘泊

8月6日 北岳山荘(5:05)→(6:29)間ノ岳→(7:40)北岳山荘(8:35)→吊尾根分岐(9:47)
→(10:17)北岳(10:30)→(11:10)北岳肩ノ小屋(11:40)→

小太郎尾根分岐(12:00)→白根御池小屋(13:43)→(16:00)広河原

広河原登山口より北岳3,193mまでの標高差約1,670m。大樺沢は雪渓が残っていたが、左岸夏道利用でアイゼン不要だった。山と高原地図2017年版の吊尾根分岐~北岳山荘に○危の記載有り。しかし、この稜線コースはそれまでのコースと比較しても大して難なく、南東側のトラバース道の方が、片側、崖上に狭く水平でない床板の木橋2、3箇所が有り、慎重さが必要でした。下りに八本歯の科尔~大樺沢コースを取る時は、雨天時やその直後は八本歯の科尔前後の杉丸太の多数のハシゴが滑り易そうで又、落石の心配も有り、避けた方が良さそうです。

(井 記)

有志山行 燧ヶ岳～至仏山 8月6～9日 L乾 参加9名(内会員外1名)

8/7 鳩待峠 7:15 横田代 8:35 アヤマ平 9:22 富士見峠 10:00
白尾山 11:03 皿伏山 13:20 三平下 15:04 尾瀬沼ヒュッテ 15:30
8/8 尾瀬沼ヒュッテ 6:35 見晴 9:30 三条ノ滝 11:45 12:30 見晴 13:00
竜宮 14:14 牛首分岐 15:00 山ノ鼻 15:40
8/9 山ノ鼻 5:30 8:50 至仏山 9:00 小至仏山 9:50 オヤマ沢田代 10:30
鳩待峠 12:00

三日目の台風の影響で小雨が降り、燧ヶ岳登山は決行か中止か判断に迷うような微妙な天気であった一度登った経験のあるものは中止を言いまだ未登山のものはここまで来たのだから決行したいと意見が分かれた。リーダーの判断とは難しものであると痛切に感じた。(松山 記)

有志山行 鳳凰三山 8月11～14日 L岸本 参加5名

8/11(金) 近鉄高速バス 大阪駅 8:10→甲府 17:30(延着)
8/12(土) 甲府駅 7:05(バス)→夜叉神峠登山口 8:17着 8:40出発
～夜叉神小屋 10:00 ～杖立峠 12:20(昼食)～葎平 14:55
～南御室小屋(泊) 15:45
8/13(日) 南御室小屋 6:15～薬師岳 8:55～観音岳 10:15～
アカ沢ノ頭 12:45～地藏岳 13:05～鳳凰小屋(泊) 14:40
8/14(月) 鳳凰小屋 6:15～燕頭山 8:25～御座石温泉 12:00着
/14:10発(タクシー)→穴山駅 15:05 →塩尻 17:03(リ
トビュナ)→名古屋 19:05着/19:43発(新幹線)→新大阪 20:
33着

クラブに提出した山行計画書(五十嵐さん作成)自体、無理なくゆっくり歩く前提で、昭文社地図等に記載のコースタイムよりも長めを予定していたが、それでも予想よりも歩きにくい岩場やザレ場などがあったために歩行時間が予定を上回った。3日間とも曇天であったために眺望は楽しめなかったが、変化にとんだ地形と珍しい高山植物、宿・温泉を楽しむことができた。(元 記)

有志山行 槍ヶ岳・北穂高岳縦走 8月11～15日 L森(庸) 参加4名

8/11(金) 森ノ宮駐輪場 22:00

8/12(土) あかんだな駐車場→上高地 6:25→明神池 7:50→徳澤 9:15→横尾山荘 10:10
8/13(日) 横尾山荘 4:30→槍沢ロッジ 5:55→ヒュッテ大槍 9:35→槍ヶ岳山荘 10:40→
槍ヶ岳→ヒュッテ大槍 13:10
8/14(月) ヒュッテ大槍 4:30→槍ヶ岳山荘 5:10→中岳 6:20→南岳 7:30→
(大キレット) →北穂高小屋 11:20

8/15(火) 北穂高小屋 4:50→涸沢 7:10→横尾 9:25→上高地 11:40→平湯(帰阪)

最終日少し霧雨が降ったほかは晴れと曇りの恵まれた山行で、安全に歩くことができました。初日は寝不足の歩きになるために横尾山荘までと短めの行程で、山荘でお風呂と美味しい夕食を満喫して早々に就寝。翌日はいよいよ槍ヶ岳を目指しての登り開始です。途中で冷たく美味しい水場があり、一時の休憩にほっとします。当日宿泊のヒュッテ大槍を経由して少しだけ荷物をデポ。槍ヶ岳までは岩ゴロゴロの尾根を歩き、槍ヶ岳の肩に到着。心配した大渋滞はなさそうでほっとして槍ヶ岳に登りましたが、やっぱり途中で待ち時間がいっぱいあり、遅いペースで登っていきます。山頂は生憎の霧で眺望なし、残念。3日目はいよいよ大キレット。槍ヶ岳から中岳、南岳までのルートも岩々で、しかも 3000mでの歩きは息があがります。南岳を超えて、大キレットがスタート。岩も乾いていて歩きやすく、ほとんど怖さもなく、どんどん進みます。少しガスって周囲が見えない時、1回前方離れたところの登りの人たちから「ラク、ラク」の大声とともに、大きそうな岩がゴロゴロ落ちる音がしてドキッとすることがありました。有名な長谷川ピークや飛騨泣きもいつ通ったのか自覚しないまま、北穂高岳直下の最後の登りに差し掛かり、落石に注意しながら慎重に登って、北穂高小屋に到着。達成感を味わいながら昼食にカレー、ラーメンを食べて、満足満腹。最終日は霧雨の中、北穂高岳から涸沢、横尾、徳沢、上高地と下山。楽しかった4日間の縦走が終了しました。今回の山行では、教育部の訓練のお蔭で、足場に悩むこともなく岩場を通過でき、また先頭がルートミスしかけても後続が声を掛けて正しい道に戻ることができるなど、チームワークを発揮できた山行となりました。ありがとうございました。

(森(庸)記)